



EBERSPÄCHER / MANAGEMENT

行動規範

エバスペツヒャー・グループの行動規範

目次

取締役会の緒言	4
---------------	---

I. 政策声明

1. エバスペックターの自社認識	5
1.1 価値指向性および規則の遵守	5
1.2 強制労働および児童労働の禁止、労働者の権利の擁護、差別の禁止	5
1.3 生活を送る環境と社会に対する責任による持続可能な発展	6
1.4 基準	6
2. 行動規範の拘束力	7
2.1 オリエンテーションガイダンス	7
2.2 拘束力および義務	7
2.3 ガイドラインによる補足	7

II. 商取引における行為

1. 公正な競争入札、カルテルの禁止	8
1.1 禁止されている取引行為	8
1.2 法務部門の関与	8
2. 買収禁止	9
2.1 汚職と賄賂	9
2.2 厚遇、接待、贈答	9
2.3 コンサルタントおよび仲介人	9
3. 寄付およびスポンサーシップ	10
3.1 寄付	10
3.2 助成	10
4. 税法、輸出管理規則およびマネーロンダリング禁止の遵守	11
4.1 税	11
4.2 輸出管理と税関	11
4.3 マネーロンダリング	11
5. ビジネスパートナーの選択	13
5.1 選択プロセス	13
5.2 ビジネスパートナーの行動規範	13
6. 文書化と報告	13

III. 従業員と経営文化

1. 経営文化	15
2. 公正な労働条件と安全な労働	16
2.1 労働環境	16
2.2 健康と安全	16
3. 利益相反の回避	17
3.1 原則	17
3.2 エバスペッチャーの競合者としての従業員	17
3.3 エバスペッチャーのビジネスパートナーとしての従業員	17
3.4 従業員からエバスペッチャーのビジネスパートナーへの私的要求	17
3.5 従業員の社会的コミットメント	17
4. 機密保持、プライバシーおよび情報セキュリティ	19
4.1 企業秘密に関する機密保持	19
4.2 個人データの保護	19
4.3 安全な情報交換	19
5. 会社財産の慎重な取り扱い	19

IV. 行動規範の実施

1. コンプライアンス	21
1.1 コンプライアンスに対する全社員の責任	21
1.2 サポートするコンプライアンス組織	21
2. コンプライアンスに関する質問および法令違反の通報	21

取締役会の緒言

エバスペヒャーは、自動車業界のグローバルパートナーとして、排気技術、空調および自動車用電子機器の分野で信頼性の高い革新的なソリューションを提供し、環境にやさしい、安全で快適なモビリティに貢献しています。

1865年にヤコブ・エバスペヒャーがクラフトビジネスとして創業して以来、エバスペヒャーという名前は優れた製品だけでなく、創業家5世代目のオーナー経営によるファミリー企業としての価値も体現しています。これらの価値は当社の企業理念において従業員と共に具現してきました。

法律および法令の遵守、社内規則の遵守、ならびに倫理的価値観の尊重（コンプライアンス）は、いづいかなる場所でも当社の経済的成功の基盤です。

当社は従業員、ビジネスパートナー、そして地域社会に対する社会的責任と、環境の保全と天然資源の保全に尽力しています。

それによって、私たちは当社およびコミュニティの持続可能な発展に貢献するだけでなく、当社の全従業員およびビジネスパートナーから信頼され、それを維持していきたいと思っています。

この行動規範は、当社の事業行動の最も重要な原則をまとめたものです。この規範は、当社の従業員が、日常業務で同僚、供給業者、顧客および競争相手との指針を示しており、彼らが法的および倫理的問題に対処する時のサポートとなります。

従業員一人ひとりの責務として、この行動規範を読み、理解し、日常業務で積極的に実践することが欠かせません。当社には規範に従ったモラルのある言動に対する共同の責任があります。

エバスペヒャーは、ローカルな要求にもグローバルな要求にも応えるために、すべての従業員を積極的にサポートすることを求める世界的なコンプライアンス組織を実現しました。

エスリンゲン 2023年1月



Martin Peters

代表取締役会長／マネージング・パートナー

I. 政策声明

1. エバスペヒャーの自社認識

当社は、人を事業活動の最前線に立たせることを共通の認識にしています。その際、私たちは自分たちの商取引の法律適合性とビジネス倫理の原則にしっかりと注意を払います。人権の尊重および保護はエバスペヒャーの基本原則における最上位に位置します。社会的、対環境の責任を果たすための取り組みも行います。

1.1 価値指向性および規則の遵守

信頼、尊敬、寛容などの当社が定義した価値観が私たちを導き、同僚や顧客への対応について方向性を示します。それらは私たちのビジネスと社会的行動の倫理的枠組みを形成しています。私たちは、すべてのエバスペヒャー従業員が合法的かつ倫理的に健全な態度をとることを期待しています。それが私たちの信頼の文化の基礎であり、行動規範の原則との整合性です。国際的にも各国内でも、当社の事業に適用されるすべての法的規制を厳守することが最優先事項です。これは、負うべき責務および社内ガイドラインにも適用されます。

1.2 強制労働および児童労働の禁止、労働者の権利の擁護、差別の禁止

エバスペヒャーは、ILOのコア労働基準に記載された原則を支持します。エバスペヒャーはあらゆる形態の強制労働、奴隷労働または児童労働を禁止します。当社において奴隷状態や人身売買の形態が生じていないことを確認するために、有効なシステムおよび検査を実施することを当社自身に課しています。当社で勤務する者にILO条約第138号の最低年齢に達していない者が決していないことを確認しています。

エバスペヒャーは労働者の結社の自由と団体交渉の権利を支持します。

当社はグローバルな事業活動で、さまざまな国や文化圏の人々と良好な関係を築いています。私たちは民族的、国家的、社会的出身、性別、皮膚の色、年齢、言語、障害、性的アイデンティティ、宗教的見解、政治的見解などで区別をしません。また多様性を大切にします。これらの性質に基づく差別や嫌がらせを容認しません。

当社のビジネスパートナーおよびサプライチェーン全体でもこの人権の遵守を要請し、検証しています。



I. 政策声明

1.3 生活を送る環境と社会に対する責任による持続可能な発展

「将来のモビリティを推進する」という当社のスローガンに忠実に、私たちには今日そして未来の人々の欲求が、そして将来の世代には環境を無傷のまま維持することが大きな関心事であり、それゆえこの行動規範は当社の持続可能な発展の基礎でもあります。

自動車業界のパートナーとして、エバスペツヒャーは革新的なソリューションで環境にやさしい、快適で安全なモビリティに貢献します。したがって、人と環境への責務は、当社のビジネスモデルの重要な核心です。資源の節約だけでなく、原材料のリサイクルにも注意を払いながら、自動車による環境

および気候への負担を減らすために積極的に取り組んでいます。当社は、特に従業員、ビジネスパートナー、そして地域社会に対して、さまざまな方法で社会的責任を果たします。

1.4 基準

「国連グローバルコンパクト」、「国連のビジネスおよび人権に関するガイドライン」、「OECD多国籍企業のガイドライン」などの国内および国際機関の協定と勧告は、エバスペツヒャーにとって重要なガイドラインです。



2. 行動規範の拘束力

エバスペツヒャーの自社認識の原則は、この行動規範に具現されています。それは会社の全経営陣、全従業員、そして世界中の他のすべてのエバスペツヒャーにとっても指針であり、全員に対して拘束力を持ちます。

2.1 オリエンテーションガイダンス

この行動規範は、商法上の取引および同僚との取引におけるモラルおよび倫理的で適切な行動と同様に、合法的および法律に準拠した行動のための最も重要な原則を組み合わせたものです。それは日常業務の指針を提供し、正しく適正かつ責任ある行動をサポートし促進します。

2.2 拘束力および義務

配属された従業員にこの行動規範の有効性と内容について包括的に知らせ、無条件にすべての規則を遵守するように促すことは、すべての役員の任務です。さらに、エバスペツヒャーは、この規範を実施するためのトレーニングと実践的なガイダンスを通じて、全従業員をサポートします。

規範を無視することは、エバスペツヒャーに大きな経済的損失をもたらし、社のイメージを著しく傷つけ

るだけでなく、会社の持続可能な発展を危うくするため、経営陣はこの行動規範の原則の違反を容認しません。

したがって、各従業員は、その従業員に関するすべての法律、規則および行動基準を遵守する責任を負う必要があります違反した場合、従業員は本人に対する行政手続きの有無にかかわらず、懲戒処分および損害賠償請求を覚悟しなければなりません。

この行動規範の規則は最低限の基準です。より厳しい規定が法制化されている場合、それはこの行動規範によって制限されません。

本規範は、第三者による主張を生じさせない内部的な行動指針です。

2.3 ガイドラインによる補足

本規範は、選択された主題に関する社内ガイドラインによって具体化され、補足されています。すべてのガイドラインは本規範と適合していなければなりません。

II. 商取引における行為

1. 公正な競争入札、カルテルの禁止

自由で制約のない公正な競争は、市場経済の基本原則であり、当社の企業文化の中核です。当社は、世界中で自由市場と開かれた競争を促進するためのあらゆる努力をサポートします。性能、顧客指向、および当社の革新的製品の品質のみを公正に競うことは、当社の事業方針に沿っています。公正な競争に関する国内外の規則および独占禁止法の規則に違反する従業員の行動を容認しません。

1.1 禁止されている取引行為

反競争的行為、特に独占禁止法に関連する行為は排除されます。

例えば次の行為は禁止されています：

- ・ 見本市や合同イベントなどでの価格、価格要素、技術の発展など、競争上機密性の高い情報、または競合他社への広報に関する競合他社との協議および合意
- ・ 競合他社との顧客、市場、地域またはプロジェクトの分割
- ・ 入札時の競争の放棄または見せかけの提案の提出に関する競合他社との合意
- ・ 正規販売店の販売価格の拘束力のある仕様
- ・ 市場での支配的な立場での違法な売り込み
- ・ 注文の競争における供給業者の不当な優遇または妨害

詳細はエバスペッチャーの競争および反トラストガイドラインによって規定されています。

1.2 法務部門の関与

競争関連の問題の評価は困難な場合があるため、常に本部の法務部門に連絡してください。

2. 買収禁止

当社は当社製品とサービスの革新、品質および価格を通して注文を競います。公務員や選出議員との関係は、尊敬と順法精神によって特徴付けられます。いかなる形態の買収も違法であり禁止されています。

2.1 汚職と賄賂

エバスペツヒャーの従業員は、その雇用に関して、ビジネスパートナー、その従業員、代理人、または第三者または第三者に対する利益を要求、受領、獲得、または約束さえできず、法的強制力のある請求は認められません(商取引における買収)。

エバスペツヒャーは、仲介、譲渡、承認、執行、または公的手続きの範囲内での注文の執行、または当局との他の関係に関連して、ビジネスパートナー、その従業員、役員、代理人、調停人またはその他の者への違法な供与または授与もまた容認しません。これが例えば、仲介人や関係者を通して直接又は間接的に行われているかどうかは関係ありません(「商取引における贈収賄」)。

利益供与を視野に入れて、職務権限者、公務員、またはその他の公的機関の職員と取引するときは、特に注意を払う必要があります(「公務員に対する贈収賄」、「利益供与」)。

2.2 厚遇、接待、贈答

不正の類似行為も避けなければなりません。それゆえ、エバスペツヒャーのビジネスパートナーと取引するには特に以下の寄付を批判的に検証する必要があります:

- 不釣り合いな接待費
- 出張に直接関連していない法外な、不釣り合いな
- 接待、またはこれに類する接待
- 金銭、価値または財産の供与

利益供与を視野に入れて、職務権限者、公務員、またはその他の公的機関の職員と取引するときは、特に注意を払う必要があります。

詳細な規定および関連する金額の制限は、エバスペツヒャーの厚遇および贈答ガイドラインによって規定されています。

2.3 コンサルタントおよび仲介人

コンサルタント、代理店または他の仲介者との合意は書面でのみ行うことができます。謝礼、手数料およびその他の報酬は、証明できる対価として合理的なレートでなければなりません。報酬は慣習的なレートと一致する必要があります。内規を回避したり、不適切な給付を付与または取得するような形態は禁止されています。

II. 商取引における行為

3. 寄付と助成

エバスペツヒャーは社会的責任に尽力しており、当社の持続可能性戦略の一環として、寄付や助成を通じて、社会プロジェクトや科学、文化、教育、スポーツの分野にも関わっています。寄付の供与および助成は適用法に従って厳密に行わなければなりません。

3.1 寄付

寄付は、エバスペツヒャーが見返りを期待せず、また見返りを得ない自発的な援助です。寄付が認められている範囲で、地域に関連していなければなりません。寄付により影響力を行使するような印象を与えることは許されず、エバスペツヒャーまたはその従業員の評判を傷つけることがあってはなりません。寄付は買収目的に悪用されてはなりません。

また政党、党のような組織、職務権限のある者および役職者、ならびに職務権限または職務の候補者への寄付は禁止されています。

3.2 助成

助成金はインセンティブ指向で給付するものです。助成契約の締結が必要であり、エバスペツヒャーまたはその拠点の中核事業に関連している必要があります。

手続きおよび関連する金額の制限は、エバスペツヒャーの寄付およびスポンサーガイドラインに準拠しています。



4. 税法、輸出管理規則およびマネーロンダリング禁止の遵守

国内外の税法、貿易規定、およびマネーロンダリング禁止の厳格な遵守は、国際企業としてのエバスペツヒャーにとって不可欠です。

4.1 税

エバスペツヒャーは、当社が事業を展開している国における国内外の税法および関税に関するすべての法律および義務を遵守することを確約します。当社は、関連する要件の許容できない回避および契約の誤用を拒否します。

詳細はエバスペツヒャーの法人税ガイドラインによって規定されています。

4.2 輸出管理と税関

当社は、商品、技術またはサービスの輸入、輸出または国内取引を制限または禁止するすべての国内および国際規定を尊重します。当社は、外国貿易法、関税規定およびその結果としての承認手続きを遵守します。

詳細はエバスペツヒャーの輸出管理ガイドラインによって規定されています。

4.3 マネーロンダリング

エバスペツヒャーは、マネーロンダリングに対する国際的な戦いを支持し、法的義務を極めて真剣に受け止めています。

さらなる詳細は、マネーロンダリングに対するエバスペツヒャーのマネーロンダリングガイドラインによって規定されています。



II. 商取引における行為

5. ビジネスパートナーの選択

ビジネスパートナーの選択は慎重かつ客観的な基準に従って行われます。ビジネスパートナーはエバスペツヒャーの経営方針を遵守する義務があります。

5.1 選択プロセス

エバスペツヒャーのビジネスパートナー（供給業者、サービスプロバイダー、営業担当者、代理店、プロジェクトパートナー、コンサルタントなど）の選択は、事前に定義された客観的な基準で評価されるオファーに基づいて偏りのない基準で行われます。主観的な好みや差別は禁止されています。

5.2 ビジネスパートナーの行動規範

エバスペツヒャーは、世界中のビジネスパートナーが、人と環境の尊重、法の支配、汚職の禁止と競争の誠実性など、ビジネス行動規範の原則を尊重し行動することを期待しています。

これは、当社のビジネスパートナー行動規範に対する契約上の義務、または同じ原則を共有する事前に検証された同等な経営方針を含む行動規範の証明を通じて行うことができます。

詳細はエバスペツヒャーのビジネスパートナー行動規範によって規定されています。

6. 文書化と報告

業務取引は文書化され、正しく報告されなければなりません。

内部または外部の規制に従って文書化されるすべての取引は、エバスペツヒャーの正確で包括的な方法で適時に適切な場所に記録されます。文書化は電子的に行われ、法規制および内規と期限に従って保管されるものとします。

すべての従業員は、与えられた枠組みの中で、真実で完全な口頭および書面による報告を提供する義務を負います。



III. 従業員と経営文化

1. 経営文化

持続可能な会社の成功は、特に信頼できる献身的な従業員に基づいています。エバスペッヒャーは従業員に対して大きな責任を負っており、それを認識しています。エバスペッヒャーの経営文化は共通の価値観、信頼、尊敬、寛容、パフォーマンスの向上、個人的責任、そしてお互いの公正なつきあいに基づいています。

当社は、イノベーションは常に自分の任務に献身的で知的で情熱的で、枠を超えて考える人々によって推進されると確信しています。したがって、当社は従業員に、個人またはチームの責任を引き受ける余地と可能性を与え創造性をもたらし、潜在能力を活用します。当社はヒエラルキーがないフラットな組織体制を公言しています。

それゆえ、エバスペッヒャーが雇用するすべての人の職業的および個人的な成長を促進し、従業員の資格に投資し、仕事と私生活の調和を大切にします。ゆえに、仕事の業績以外に社会参加も、特に促進され、評価されます。

私たちは、開かれた公正な関係を築きます。問題、矛盾および望ましくない展開は、従業員が率直に対処することができます。

当社の経営陣はこれらの原則の実行に積極的に取り組み、模範的な個人的行動において手本となるべきです。経営陣は従業員を常に高く評価し責任を持って取り扱うことを維持し、従業員の懸念に耳を傾けるべきです。

III. 従業員と経営文化

2. 公正な労働条件と安全な労働

エバスペッヒャーは、公正な労働条件と高い労働安全基準を守ります。

2.1 労働環境

当社は、それぞれの法的条件を遵守し、公正な報酬を提供し、労働法の要件を遵守する、従業員のための適切な労働条件および適法な労働時間を全世界で尊重します。私たちは従業員の正当な代表者を尊重します。

私たちは、国際労働機関 (ILO) の中核となる労働基準を尊重し、あらゆる形態の強制労働、奴隷労働、または児童労働を禁止します。これはエバスペッヒャーのバリューチェーン全体に適用されます。

2.2 健康と安全

従業員の健康と職場の安全は当社にとって極めて重要です。エバスペッヒャーは、健康保護、労働安全、火災および環境保護 (HSE) に関するそれぞれの法規に準拠しています。当社は常に、会社のすべての分野で適用される規制に従って設備とプロセスを運用し、従業員の健康と安全へのリスクを排除するよう努めています。



3. 利益相反の回避

エバスペツヒャーにとって、従業員が会社との利益相反や忠誠心と対立しないようにすることが重要です。

3.1 原則

エバスペツヒャーの利益と従業員の潜在的な個人的な対立は、担当の人事部に直ちに開示されます。

以下の場合には特に注意が必要です。

3.2 エバスペツヒャーの競合者としての従業員

エバスペツヒャーグループと直接または間接的に競合している会社の運営、競合会社への直接または間接の参加またはそのために働く会社の運営は、エバスペツヒャーの従業員に対して禁止されています。

エバスペツヒャーと小規模株主として競合している上場企業への参加のみ、この禁止事項から除外されます。

従業員に近い人（近親者、配偶者、ライフパートナー）がそのように競合他社と関連付けられている場合は、利益相反の包括的な評価のために責任ある人事部に報告する必要があります。

3.3 エバスペツヒャーのビジネスパートナーとしての従業員

従業員がエバスペツヒャーグループと取引関係がある事業を営んでいる場合、そのような事業に関与している場合、またはそのような事業のために活動を実施している場合は、これを報告し、責任あるコンプライアンス担当役員に承認させる必要があります。

潜在的な利益相反のため、従業員に近い人とエバスペツヒャー間のそのような取引関係も責任ある人事部に報告されなければなりません。

3.4 従業員からエバスペツヒャーのビジネスパートナーへの私的要求

違法な利益をもたらす可能性がある場合、従業員はエバスペツヒャーグループの供給業者またはサービスプロバイダに個人的な注文をすることはできません。

3.5 従業員の社会的コミットメント

エバスペツヒャーは、社員の社会的、地域的、市民的、または慈善的なコミットメントを高く評価しています。ただし、これは原則として、エバスペツヒャーの利益との衝突が排除されるような方法で行われなければなりません。



III. 従業員と経営文化

4. 機密保持、プライバシーおよび情報セキュリティ
 ビジネス情報を扱うときは、機密保持の原則がエバスペッチャーに適用されます。エバスペッチャーは、機密情報および個人情報のセキュリティと保護に責任があります。

4.1 企業秘密に関する機密保持

エバスペッチャーグループの各従業員は、合法的に公開されたり第三者にアクセス可能にされていない限り、エバスペッチャーの第三者に対する内部事項に関して機密保持の義務を負います。これは特に、個人データだけでなくあらゆる種類の経営機密および企業秘密に関する事項です。公式情報の私的使用は禁止されています。機密保持の義務は、雇用関係の終了後も継続します。

4.2 個人データの保護

エバスペッチャーは個人の権利と個人情報保護の順守を重要視しています。これには、従業員、顧客、およびビジネスパートナーの個人データの適正な取り扱いも含まれます。エバスペッチャーのすべての従業員は、関連する文書の収集、処理、および使用に一貫性があることを義務付けられています。

4.3 安全な情報交換

ビジネスには全世界的にわたる電子的な情報交換が必要です。エバスペッチャーはそれに関連するリスクを承知しています。情報の保護と情報交換のセキュリティは、エバスペッチャーにとってすべての

ビジネスプロセスにおいて極めて重要です。高度な技術的および組織的なセキュリティ基準を適用して、ビジネスデータを保護し、第三者による不正アクセスから保護する必要があります。

詳細はエバスペッチャーのITセキュリティガイドラインに規定されています。

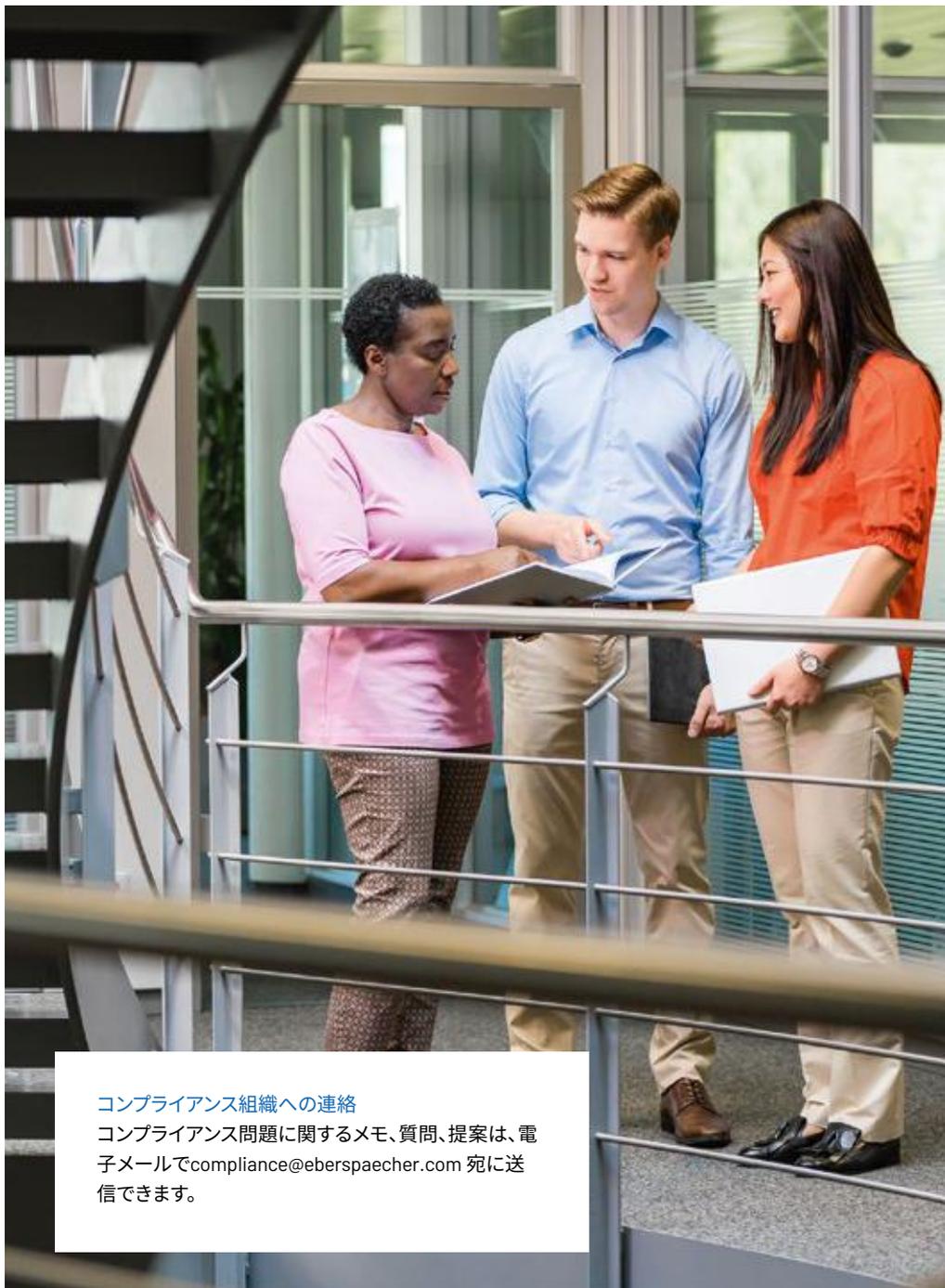
5. 会社財産の慎重な取り扱い

エバスペッチャーの会社財産は保護されなければなりません。

エバスペッチャーは、すべての従業員に対し、当社の事業の基盤である当社のすべての有形資産および無形資産を慎重かつ適切に扱うことを要求しています。これには不動産および事務機器に加えて、機器、製品、財源、情報システム、ソフトウェアおよび工業所有権（例えば、特許、商標、意匠）が含まれます。損害を報告する必要があります。

明確に許可されている場合を除き、会社の資産の撤去および私的使用は禁止されています。

法令違反は、刑法および民法の下で提訴される可能性があります。労働法上の処分をもたらすことがあります。



コンプライアンス組織への連絡

コンプライアンス問題に関するメモ、質問、提案は、電子メールでcompliance@eberspaecher.com宛に送信できます。

IV. 行動規範の実施

1. コンプライアンス

この行動規範に定められた原則と価値観は、エバスペツヒャーグループの継続的な経済的、社会的およびエコロジックな発展の基盤を形成します。それらは業務上のリスクを最小にし、管理するのに役立ちます。同時に、それらはエバスペツヒャーの人と環境に対する責任(コンプライアンス)を具現します。エバスペツヒャーは、すべての従業員がこの規範を厳格に実施し、遵守することを期待しています。従業員をサポートするために、エバスペツヒャーグループはグローバルなコンプライアンス組織を実現しました。

1.1 コンプライアンスに対する全社員の責任

規則や規制の遵守、ビジネス上の取引の誠実性、および本規範の知識と遵守は、すべてのエバスペツヒャーの全従業員の責任です。法律違反および規則違反は、エバスペツヒャーの持続可能な経済的成功を危うくするだけでなく、従業員の社会的存在を脅かすことにもなるので、会社の利益になることは決してありません。それゆえ、違反は経営陣によって容認されず、相応の制裁が課されます。

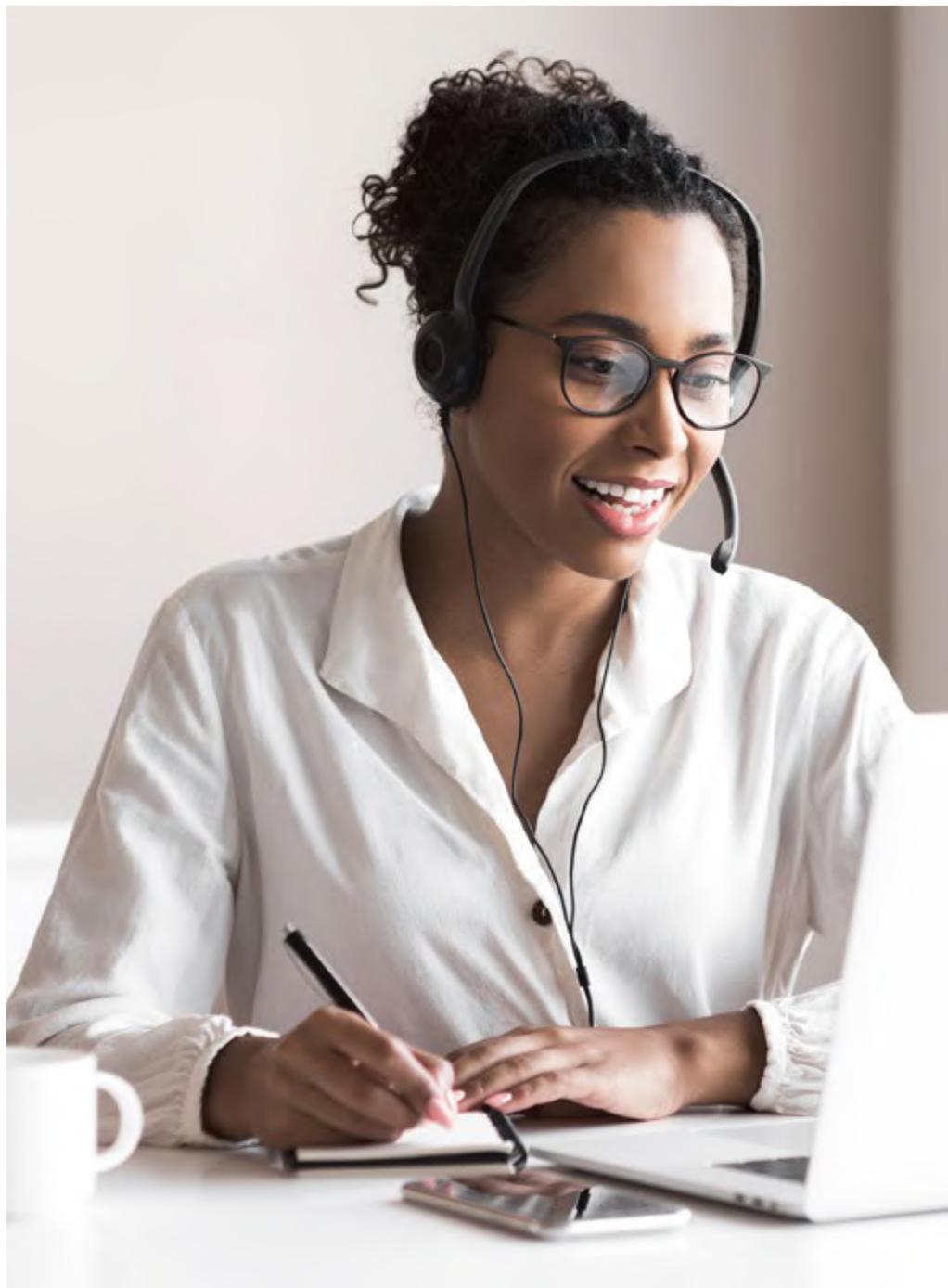
1.2 サポートするコンプライアンス組織

コンプライアンス組織は、エバスペツヒャーグループのすべてのコンプライアンス活動を調整し、情報、アドバイス、およびトレーニングを通じて、コンプライアンスリスクの管理において世界中の従業員を

サポートします。この組織は、コンプライアンスに関するすべての質問に常時応えるパートナーです。

これは、各部門の最高コンプライアンス責任者(CCO)および最高コンプライアンス顧問(CCC)、ならびにコンプライアンス委員会および下位の部門コンプライアンス責任者(DCO)で構成されています。これらにはそれぞれ、すべての事業部門で現地のコンプライアンス責任者(LCO)が配属されています。

これらの責任者はコンプライアンスに関するすべての質問について常任の相談相手です。



IV. 行動規範の実施

2. コンプライアンスに関する質問および法令違反の通報

コンプライアンス、本行動規範、およびその解釈と適用に関する質問はすべて、コンプライアンス責任者が通常の相談窓口となります(メールで compliance@eberspaecher.com までお問い合わせください)。

Eberspächerまたは当社の直接・間接のサプライヤーによる本行動規範の違反の可能性、禁止されている商習慣、人権侵害、環境破壊の疑いがある場合は、Eberspächerの内部通報制度「Speak Up」を通して通報することができます。

当社の内部通報制度は、Eberspächerのホームページ(会社情報 – 責任と持続可能性 – コンプライアンス)または [Eberspächer Speak Up](#) から、世界中いつでも利用でき、Eberspächerのコンプライアンス責任者と安全性と機密性を保ったコミュニケーションを複数の言語で取ることができます。通報者の身元は保護されます。また、必要に応じて、暗号技術により通報者の完全な匿名性を保証します。通報内容やコンプライアンスに関する情報は、機密として扱われます。

内部通報制度は、従業員だけでなく、社外の第三者も利用できるようになっています。

法律や規制違反に関する情報を誠実に提供した通報者は、Eberspächerから不利益を受けることを恐れる必要はありません。もちろん、内部通報制度を冤罪のために悪用することは許されません。

不正行為の通報内容は一貫して追求され、適切に対処されます。

go.eberspaecher.com/compliance

EBERSPÄCHER GRUPPE GMBH & CO. KG
EBERSPÄCHERSTRASSE 24
73730 ESSLINGEN / GERMANY

PHONE: +49 711 939-00
FAX: +49 711 939-0634
info@eberspaecher.com
www.eberspaecher.com